

地図と年表で大阪を探る

この章では、おおさかの地理と歴史に親しんでもらうために、地図と年表を用意しました。次のような設問をすることが可能でしょう。

1. 大阪の地形の移り変わりを知ろう！

- Q1. みんなの学校はどこにありますか？
- Q2. どのように地形は変わっていますか？
- Q3. 大和川はどこにありますか？
- Q4. 現代の地図と比較して残っているものと無くなってしまったものを探しましょう。

2. 大阪には遺跡がいっぱい。

- Q1. みんなの学校の近くに遺跡はありますか？
- Q2. どんな時代の遺跡かな？
- Q3. 遺跡は市内の面積のどれぐらいを占めているでしょう？

3. 昔の都を探ろう

- Q1. みんなの学校はどこにありますか？
- Q2. ~宮という都は全部でいくつありますか？
- Q3. 大和川はどこにありますか？
- Q4. 律令時代の中心地となっていた5つの国はどれですか？

4. 江戸時代の大阪を探ろう！

- Q1. 現代の地図とどこが違うでしょう？
- Q2. なぜ違うのでしょうか？
- Q3. どこか訪ねたことがありますか？
- Q4. 現代の地図と比較して、残っているものと無くなってしまったものを探しましょう。
- Q5. どんな名所か調べてみましょう！

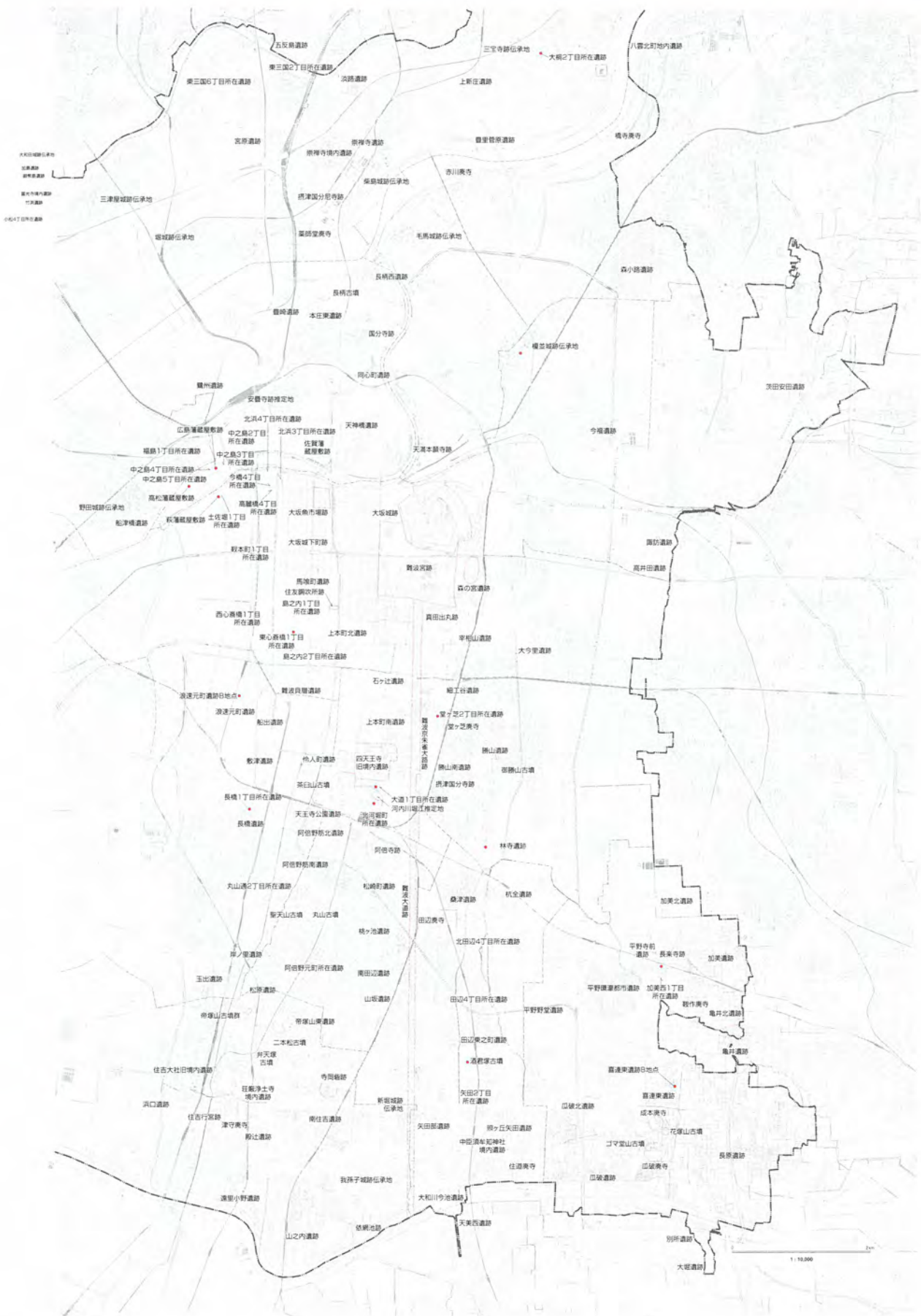
5. 「^{だいおおさか}大大阪」ってなんだろう？

- Q1. みんなの学校はどこにありますか？
- Q2. 私鉄沿線を色で着色してみよう！（阪急・阪神・近鉄・南海・京阪）
- Q3. 御堂筋線を赤色で着色してみよう！
- Q4. 大阪の臨海部（埋め立て地）を色でぬってみよう！

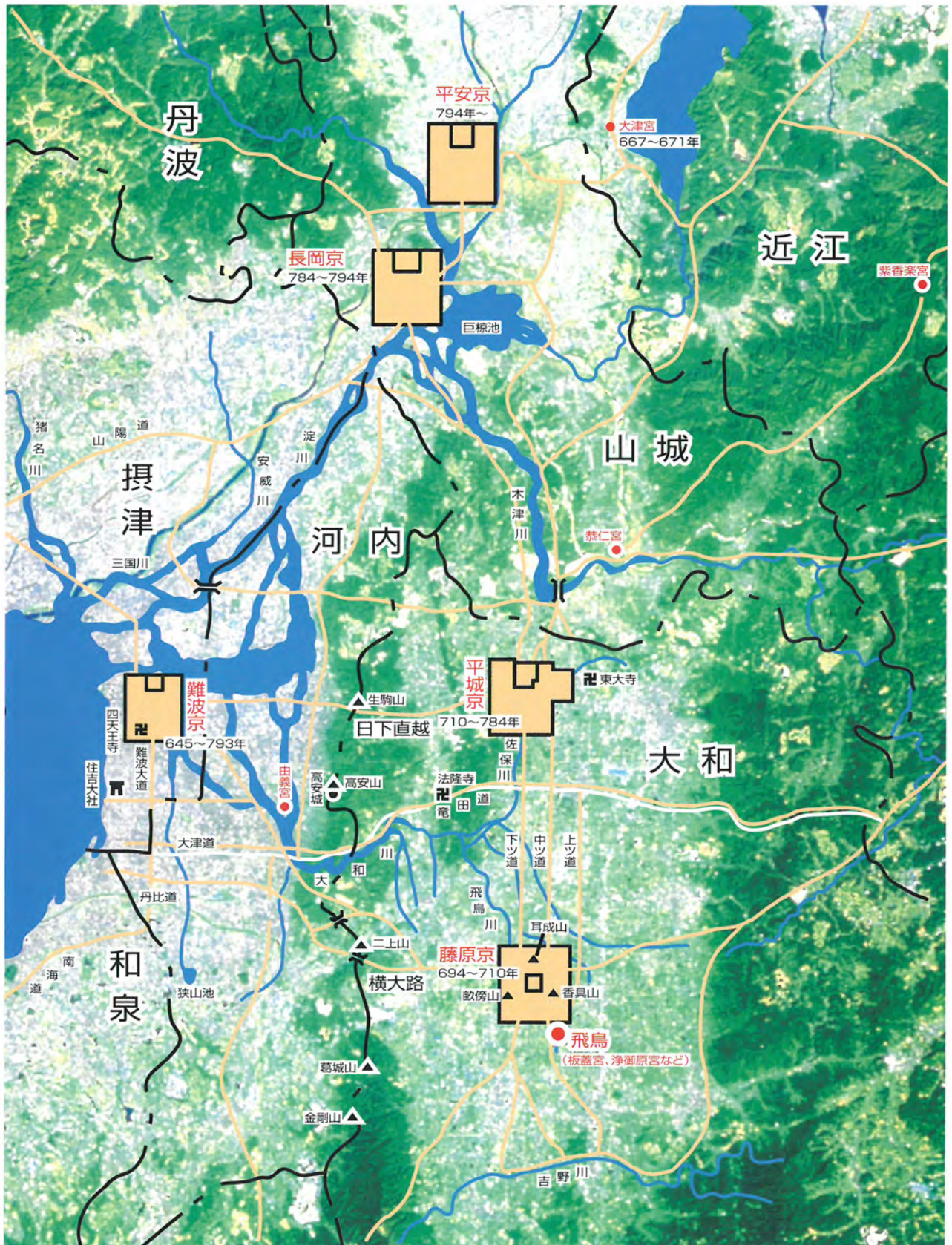
難波と地形の変遷



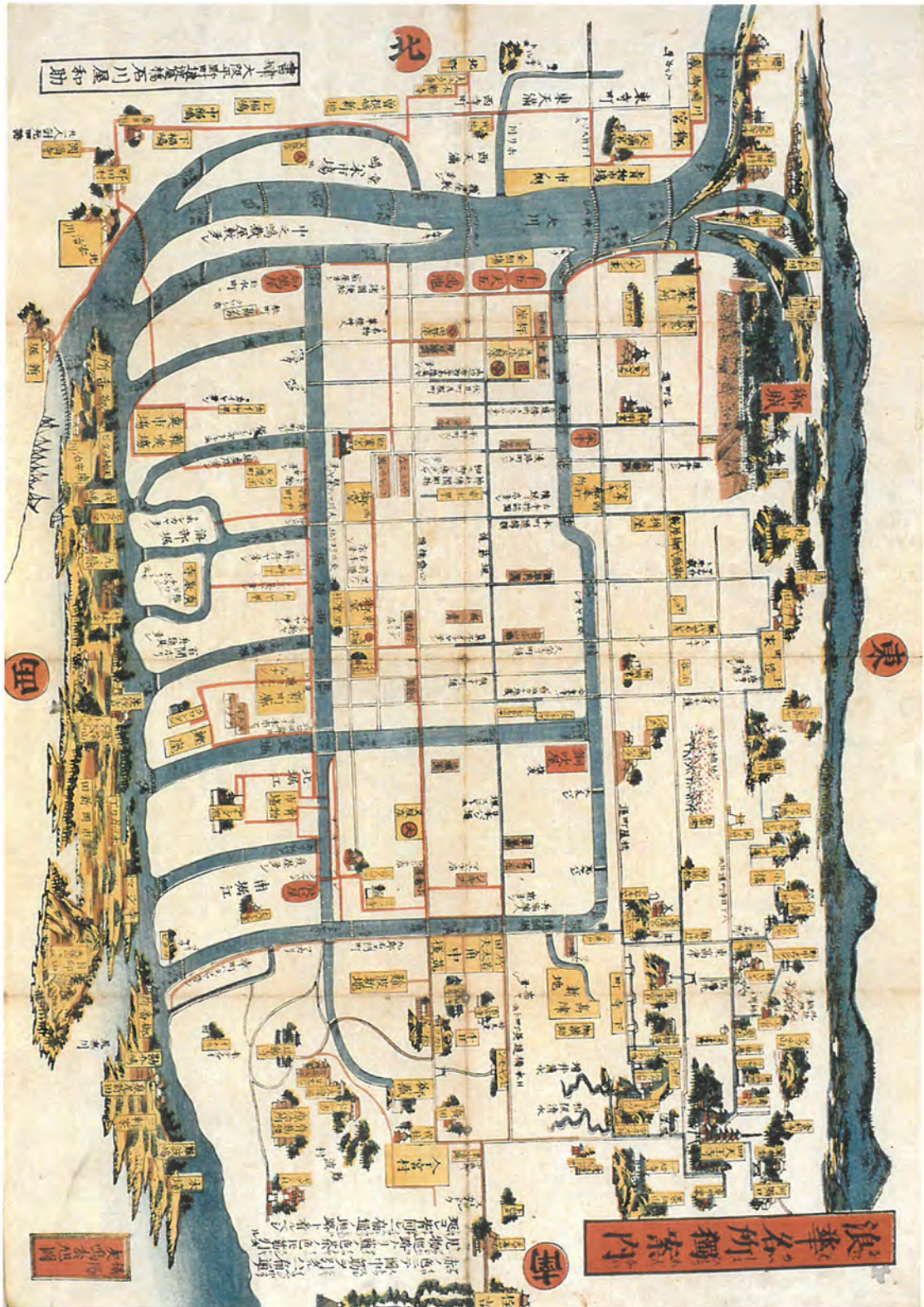
大阪市内遺跡マップ



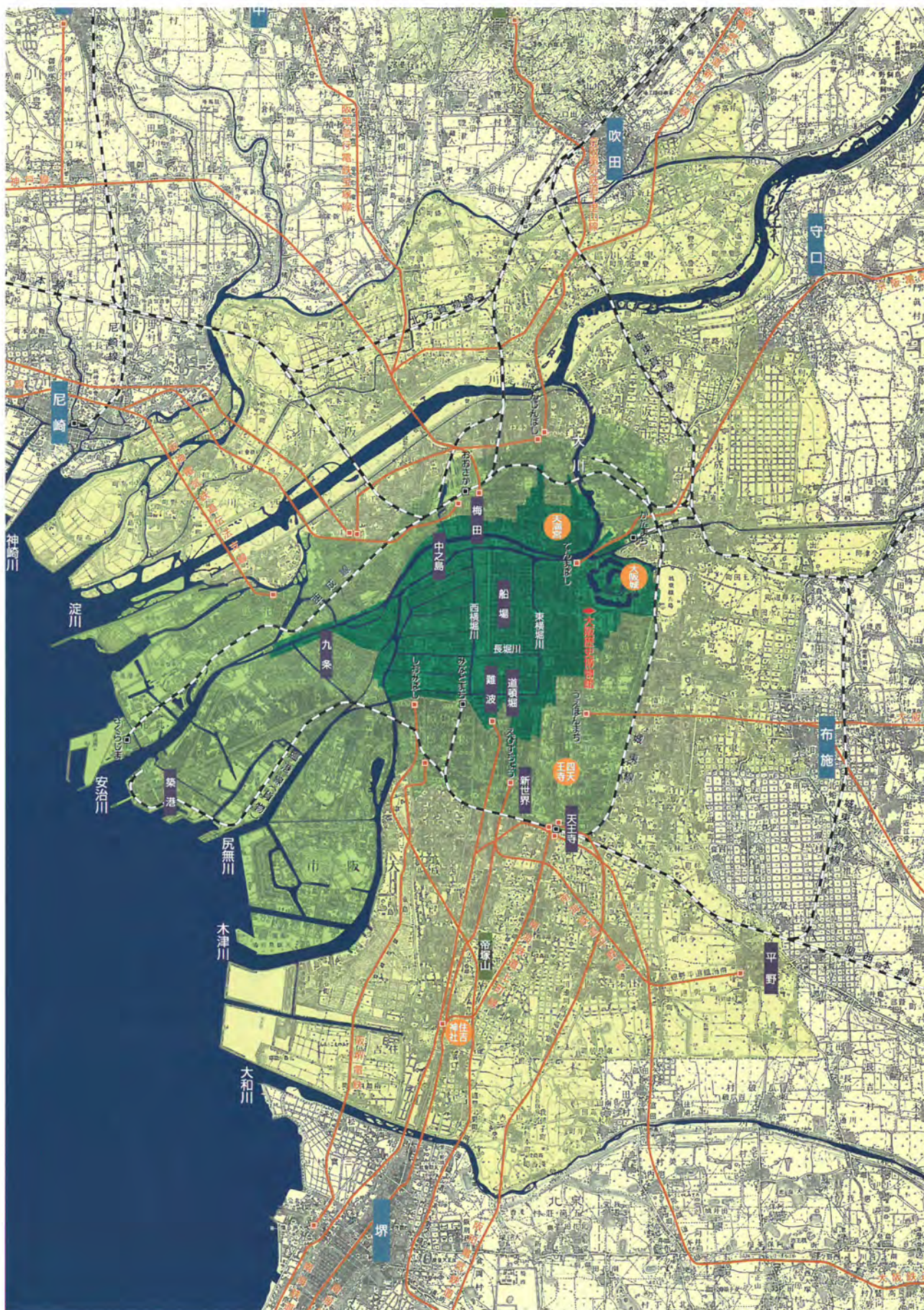
飛鳥・奈良時代の畿内



江戸時代の名所案内



昭和初期の大大阪



〈おおさか関連年表〉

時代	西暦	和暦	事項
純文	前5000年頃		森の宮遺跡(中央区)でマガキの貝塚がつかれ始める
	前400年頃 前1000年頃		河内湯沿岸で稲作が始まる 加美遺跡(平野区)で方形周溝墓が造られる
古墳	5世紀初め頃		長原高廻り2号墳(平野区)船形埴輪
	5世紀後半		法円坂に巨大倉庫群造営 堀江を掘り、茨田の堤を築く
	552	欽明13	百濟聖明王より贈られた仏像を難波堀江に捨てる
	555	欽明16	百濟使を難波津で慰問
	577	敏達6	百濟より贈られた経論等を難波大別王の寺に安置する
	583	敏達12	百濟官人日羅、難波館にて暗殺される
	585	敏達14	物部守屋、蘇我馬子の寺を焼き、仏像を難波堀江に捨てる
飛鳥	593	推古1	聖徳太子、四天王寺をつくる
	608	推古16	隋使裴世清、難波に至る
	630	舒明2	難波大郡、三韓館を修理
	645	大化1	大化改新、難波に遷都
	650	白雉1	難波長柄豊碕宮造営開始
	652	白雉3	難波長柄豊碕宮完成
	679	天武8	難波に羅城を築く
	683	天武12	複都制の詔、難波を陪都とする
	686	朱鳥1	難波宮難波大蔵からの失火により全焼
	710	和銅3	平城京遷都
奈良	726	神亀3	難波宮再建に着手
	734	天平6	難波京で宅地を班給する
	741	天平13	行基、難波に堀川、橋、布勢屋などを造る
	744	天平16	恭仁京より高御座と大橋を難波宮に運び、皇都と定める
	8世紀中頃		細工谷遺跡(天王寺区)の和同開珎枝銭
	784	延暦3	長岡京遷都
	785	延暦4	摂津国神下等に堀を通し、三國川と結ぶ
793	延暦12	難波宮を廃し、摂津職を摂津国とする	
平安	794	延暦13	平安京遷都
	845	承和12	石川・竜田両河を海に通すため、河内、摂津両国に命じて難波堀川の草木を清掃させる
	960	天徳4	四天王寺焼失
	1000	長保2	東三条院詮子、四天王寺に参詣する
鎌倉	1192	建久3	鎌倉幕府成立
	1274	文永11	文永の役
	1281	弘安4	弘安の役
	1294	永仁2	忍性、四天王寺の石鳥居を建立
	1313	正和2	この頃、渡辺津の関銭半分が東大寺東塔再建料として寄進される
	1333	元弘3 正慶2	鎌倉幕府滅亡
室町	1467	応仁1	応仁の乱
	1493	明応2	明応の政変
	1496	明応5	蓮如、大坂に坊舎を建てる
	1513	永正10	平野の杭全神社で社殿が改修される

時代	西暦	和暦	事項
室町	1532	天文1	山科本願寺焼かれる。翌年、証如、大坂に移る
	1536	天文5	本願寺、細川晴元から徳政免除される
	1561	永禄4	大坂本願寺で親鸞300回忌がとめられる
	1568	永禄11	織田信長、大坂本願寺と堺に矢銭を課す
	1570	元龜1	顕如挙兵し、石山合戦始まる
	1573	天正1	室町幕府滅亡
	1580	天正8	顕如、織田信長と和睦
織豊	1582	天正10	本能寺の変
	1583	天正11	豊臣秀吉大坂築城開始
	1584	天正12	豊臣秀吉大坂城に移る
	1585	天正13	本願寺に天満の地を与える
	1591	天正19	本願寺天満から京都西六条に移る
	1594	文禄3	伏見城普請開始、大坂城惣構普請
	1595	文禄4	秀吉、関白豊臣秀次を高野山に追放、自殺
	1598	慶長3	豊臣秀吉没、三の丸普請開始、船場の開発
	1600	慶長5	関ヶ原の戦い
	江戸	1603	慶長8
1614		慶長19	大坂冬の陣
1615		慶長20	大坂夏の陣、豊臣家滅亡
元和1			幕府、松平忠明を大坂城に配す 松平忠明、安井九兵衛らに道頓堀開削再開を命ずる
1620		元和6	大坂城再築工事開始
1622		元和8	新鞠町・新天満町・海部堀川野町3町を開く
1626		寛永3	道頓堀への遊所、芝居小屋設置が許される
1634		寛永11	幕府、大坂三郷の地子(土地税)を免除する
1636		寛永13	住友友以、長堀銅吹所を開設
1637		寛永14	鳥原の乱おこる
1638		寛永15	大坂銅屋仲間許可
1652		承応1	京・大坂で若衆歌舞伎を禁止
1653		承応2	京・大坂で狂言尽し許可、大夫本・名代の制定められる 青物市場、京橋片原町から天満に移転
1665		寛文5	大坂城天守閣に落雷、焼失
1670		寛文10	大坂十人両替成立、両替商仲間公認
1672		寛文12	河村瑞賢、西廻り航路を開く
1677		延宝5	井原西鶴、生玉本覚寺で1夜1日1600句大矢数俳諧
1682		天和2	井原西鶴「好色一代男」刊
1684		貞享1	河村瑞賢、九条島を開削(安治川の成立)
1685		貞享2	道頓堀に竹本座旗上げ
1687	貞享4	「生類憐みの令」発布	
1688	元禄1	堂島新地の町割りを実施、堂島穀物売買所できる 井原西鶴「日本永代蔵」刊 大坂に銅座が置かれる	
1697	元禄10	大坂三郷の消防制度確立	
1702	元禄15	赤穂浪士討入り	
1703	元禄16	近松門左衛門の「曾根崎心中」竹本座で初演	
1704	宝永1	大和川付替工事	
1705	宝永2	淀屋五郎左衛門(辰五郎)開所、鴻池・菱屋ら旧大和川河道を新田開発	

時代	西暦	和暦	事項
江戸	1707	宝永 4	富士山噴火
	1712	正徳 2	銅座廃止
	1717	享保 2	土橋友直ら含翠堂を平野郷町に創設
	1724	享保 9	大坂大火、(妙智焼け)市街の2/3を焼く、焼失戸数12205軒 三宅石庵、尼崎1丁目に懐徳堂を創立
	1727	享保 12	堂島米相場会所設立
	1738	元文 3	銅座(第2次銅座)置かれる
	1743	寛保 3	第2次銅座廃止
	1765	明和 2	片山北海、混沌詩社を創設
	1766	明和 3	銅座(第3次銅座)置かれる
	1776	安永 5	上田秋成「雨月物語」刊 篠崎三島、私塾梅花社を開設
	1789	寛政 1	南本町2丁目から出火(寛政の大火)
	1795	寛政 7	問重富、高橋至時、暦学御用で江戸に招かれる
	1802	享和 2	木村兼茂堂没
	1805	文化 2	伊能忠敬大坂市中を測量
	1822	文政 5	大坂でコレラ流行
	1830	文政 13	お蔭参り流行
	1831	天保 2	安治川浚渫により天保山成る(天保3年)
	1837	天保 8	大塩平八郎の乱
	1838	天保 9	緒方洪庵、私塾適塾を開く
	1841	天保 12	株仲間解散
	1851	嘉永 4	株仲間再興
	1853	嘉永 6	ペリー来航
	1854	嘉永 7	ロシア船デアナ号、大坂に来航 大地震・大津波により大坂市中に甚大な被害
	1856	安政 3	幕府、安治川・木津川口に台場を築く
	1858	安政 5	大坂でコレラ流行
	1860	安政 7	桜田門外の変
	1864	元治 1	蛤御門の変、第1次長州征伐
	1865	慶応 1	第2次長州征伐、将軍家茂大坂入城
	1866	慶応 2	薩長連合なる
	1867	慶応 3	「ええじゃないか」の大衆乱舞起こる 大政奉還 大坂開市
	1868	慶応 4	鳥羽・伏見の戦い(戊辰戦争)始まる、大坂城炎上 大阪府設置 五代友厚、大阪府権判事となる 川口居留地競売

時代	西暦	和暦	事項
明治	1869	明治 1	慶応を明治と改元
	1870	明治 2	懐徳堂閉鎖 五代友厚、官を辞す
	1870	明治 3	造兵司(のちの大阪砲兵工廠)設置
	1871	明治 4	造幣寮開業 廃藩置県
	1874	明治 7	大阪府庁舎江之子島に落成 大阪-神戸鉄道開業
	1875	明治 8	大阪博物館創業 大阪会議
	1877	明治 10	西南戦争発生
	1882	明治 15	大阪紡績会社設立
	1885	明治 18	淀川大洪水
	1889	明治 22	大日本帝国憲法発布 大阪に市制施行
	1894	明治 27	日清戦争始まる
	1895	明治 28	大阪市に上水道通水
	1897	明治 30	南地演舞場で初めて映画を上映

時代	西暦	和暦	事項
明治	1903	明治 36	大阪市、第一次市域拡張 第五回内国勲業博覧会 築港大橋橋竣工 大阪市電開通
	1904	明治 37	日露戦争始まる
	1909	明治 42	淀川改修工事竣工(新淀川できる)北の大火
	1912	明治 45	南の大火 新世界ルナパーク完成

時代	西暦	和暦	事項
大正	1914	大正 3	第1次世界大戦始まる 柴島浄水場竣工
	1915	大正 4	大阪市立動物園設置
	1918	大正 7	米騒動発生、大阪市に公設市場設立 大阪市中央公会堂竣工
	1919	大正 8	桜宮・鶴町に市営住宅建設
	1921	大正 10	大阪市役所中之島に新築移転 市立市民館開設(のちの北市民館)
	1922	大正 11	大阪水平社設立
	1923	大正 12	関東大震災、大阪松竹座完成
	1925	大正 14	大大阪記念博覧会開催、大阪第二次市域拡張 大阪放送局、ラジオ放送を開始

時代	西暦	和暦	事項
昭和	1929	昭和 4	四ツ橋に文楽座新築落成
	1931	昭和 6	大阪城公園・天守閣竣工式 大阪市中央卸売市場開設 満州事変発生
	1932	昭和 7	大阪歌舞伎座開場
	1933	昭和 8	地下鉄、梅田~心斎橋開通 ゴースト事件
	1934	昭和 9	室戸台風
	1935	昭和 10	地下鉄、難波まで延伸
	1936	昭和 11	大阪市立美術館完成
	1937	昭和 12	大阪市立電気科学館開館、御堂筋全線開通
	1941	昭和 16	太平洋戦争始まる
	1944	昭和 19	大阪市、学童集団疎開
	1945	昭和 20	大阪大空襲、終戦
	1948	昭和 23	進駐軍、大阪撤収。松竹新喜劇旗揚げ公演
	1950	昭和 25	朝鮮戦争勃発
	1954	昭和 29	法円坂で発掘調査開始 NHK大阪放送局、テレビ放送を開始
	1955	昭和 30	人間浄瑠璃文楽が重要文化財に指定される
	1956	昭和 31	泉布観、重要文化財に指定される
	1960	昭和 35	大阪市立博物館開館
	1961	昭和 36	大阪環状線開通
	1962	昭和 37	千里ニュータウン町びらき
	1964	昭和 39	東海道新幹線開業、東京オリンピック
	1969	昭和 44	大阪市電廃止
	1970	昭和 45	万国博覧会開幕、天六地下鉄工事現場でガス爆発 泉北ニュータウン完成
	1972	昭和 47	札幌冬季オリンピック開幕、千日前デパート火災
	1973	昭和 48	大阪で光化学スモッグ注意報
	1974	昭和 49	大阪市立自然史博物館、長居公園に開館
	1982	昭和 57	大阪市立東洋陶磁美術館開館
1984	昭和 59	国立文楽劇場開場	
1985	昭和 60	阪神タイガース、初の日本一	

時代	西暦	和暦	事項
平成	1990	平成 2	国際花と緑の博覧会
	1994	平成 6	関西国際空港開港
	1995	平成 7	阪神淡路大震災

発行にあたって

大阪市立住之江中学校長 植野正弘

大阪歴史博物館といえば、大阪の歴史や文化を紹介し、研究を続けてきた大阪市立博物館の新館であるとともに、難波宮を中心とする考古学の資料センターとしての機能を併せ持つ日本でも有数の地域に根ざした博物館です。当然のこと、立派な案内書や研究紀要も多数出版され、全国から多くの人々が来館されている大阪を代表する博物館でもあります。

このような立派な博物館の案内書の作成を依頼され、少々戸惑ったのは事実です。しかし、学校現場では、学校週五日制の完全実施、新教育課程の導入により、各中学校での教育課程の編成に工夫が払われ、学校裁量の総合の時間や選択教科の履修時間が大幅に取り入れられ、「特色ある学校づくり」が実践されやすくなりました。また、大阪市も「浪速っすくすくプラン」等大阪の特色を生かした教育の推進に力を入れている教育環境の中、現場の先生方の要望に応えられる冊子が作れるかと思いました。

早速、大阪市の社会科の専門委員の先生6名にプロジェクトチームに入ってください、歴史博物館の学芸員の方、教育センターの中村先生とも連携を図り、冊子の基本構想を練りました。

そして、大きな柱を次の3点に絞りました。

1. 学校の先生方が校外学習や総合の時間、選択履修教科の授業に活用しやすい
2. 歴史博物館の展示を郷土学習の見近な資料として深く理解できること
3. フロアー別にワークシートを導入し、よりこの博物館を生徒が活用できること

以上の柱にそって、各階毎に担当を決め、歴史博物館に足を運び、学芸員の方から意見や苦労話をお伺いし、幾度となく議論を重ね、今ここに上梓させていただきました。

上町台地を中心としたこの地域は古代の難波宮、中世の大坂本願寺、近世にはヨーロッパにも名を馳せた大坂城の城下町として、歴史のロマン薫る日本でも有数の地域だと考えます。

この案内書が各中学校で活用され、この大阪歴史博物館により多くの生徒が訪れ、さらには、難波の町の変遷が理解いただければ幸いです。

発行：大阪歴史博物館

2004年3月

〒540-0008 大阪市中央区大手前4丁目1-32

ホームページ <http://www.mus-his.city.osaka.jp/>

編集執筆：大阪市中学校教育研究会 社会部

住之江中学校校長	植野 正弘
西淀中学校教頭	河合 省三
八阪中学校教諭	高橋 司
天満中学校教諭	西田 清盛
淀中学校教諭	朝重 浩一
勝山中学校教諭	竹内 直樹
東我孫子中学校教諭	八木 剛市
住之江中学校教諭	仲 美由紀



大阪歴史博物館

Osaka Museum of History

ホームページ <http://www.mus-his.city.osaka.jp/>